

近年の携帯電話市場では、通話やメールなどの単なるコミュニケーションツールとしての機能だけにとどまらず、生活スタイルに合わせて様々な機能を搭載した機種が増えてきています。特にここ数年は、地上デジタル放送の視聴に代表されるテレビ機能や、電子決済ができるおサイフ携帯機能など、生活に密着した付加機能が増えてきており、むしろそれらが主で、通信機能が従となるケースも少なくありません。

このような時代背景の下、モバイルコミュニケーション社は2008年において、東芝の液晶テレビ“REGZATM”の画質補正技術を応用することでより美しい画面で楽しめる機種、スポーツシーンでも簡単に操作できるコンパクトなスポーツ機種、光沢色などデザインに特徴を持たせた機種を中心に開発してきました。また、インターネット上のサービス アプリケーションを携帯電話上でもフルに利用したいというニーズに対応するため、Windows Mobile[®] 搭載機種などの開発も進めています。

今後の携帯電話市場は、第3.5世代の移動通信システムからLong Term Evolution^(注1)に代表される第3.9世代への移行や、モバイルWiMax^(注2)の出現など、より高速化されていきます。このような環境のなかで、当社も携帯電話のコアとなる技術開発を進めるとともに、デジタルプロダクツ商品との融合、連携を進めることで、お客さまのライフスタイルに合った商品を提供していきます。

(注1) W-CDMAの高速データ通信仕様の一つ。 (注3) ハイライト編のp.11に関連記事掲載。
(注2) 無線通信の標準規格。

統括技師長 湯嶋 彰

● au向け CDMA方式携帯電話 W65T



au向け CDMA方式携帯電話 W65T
W65T CDMA2000 1xEV-DO cellular phone

au向け CDMA (Code Division Multiple Access) 方式携帯電話 W65T を商品化した。主な特長は、次のとおりである。

- (1) スクロール操作をスムーズにする“スピーディーコントローラーTM”の採用
- (2) キー部へのタッチセンサの採用によるフラットですっきりしたデザイン
- (3) 有機EL (Electroluminescence) のディスプレイの美しさを最大限に引き出す“モバイルREGZAエンジン”による画質補正
- (4) 音声通信の受信アンテナダイバーシティ機能
- (5) 高音質“着うた[®]”対応のLISMO機能拡張と、使い勝手向上のガジェット機能拡張

関係論文：東芝レビュー. 64, 2, 2009, p.39-42.

● SoftBank向け W-CDMA方式携帯電話 830T



SoftBank向け W-CDMA方式携帯電話 830T
830T W-CDMA cellular phone

SoftBank向け W-CDMA (Wideband CDMA) 方式 着せ替え携帯電話 fanfun. 815T の後継機として、fanfun.2 830T を商品化した。主な特長は、次のとおりである。

- (1) アウタージャケットの下にインナーシートを2枚重ねて装着できるよう着せ替え機能を強化し、より多彩なコーディネートを楽しむことが可能
- (2) 厚さ15 mmの薄型化を実現
- (3) 当社初となる内蔵型のワンセグ用アンテナを搭載
- (4) FeliCa, Suica, A-GPS (Assisted Global Positioning System), Bluetooth[®] などのサービスに対応
- (5) GSM (Global System for Mobile Communications) に対応しており、世界の主要な各地で通話やEメールの利用が可能

● au向け CDMA2000 1xEV-DO方式携帯電話 W56T

CDMA2000 1xEV-DO (1x Evolution Data Only) 方式のau向け携帯電話 W56Tを商品化した。

ディスプレイ部が360°回転してディスプレイと本体の背面どうしを合わせることができる“リバーシブルスタイル”を採用し、ワンセグの自動起動もできる。ディスプレイには2.8型ワイドQVGA(240×400画素)の有機ELを採用し、映像コンテンツを色鮮やかに表示することができる。また、液晶テレビ レグザ シリーズの技術を用いた“記憶色補正”機能を搭載し、二つの機能を同時に表示できる“マルチプレイウィンドウ”にも対応している。更に、高速通信規格のEV-DO Rev.Aに準拠した下り3.1 Mビット/s、上り1.8 Mビット/sでの通信が可能で、テレビ電話機能も搭載している。

この商品は、auの携帯電話で使用される統合プラットフォーム KCP+を国内で初めて^(注)搭載した機種である。

(注) 2008年2月時点、当社調べ。



au向け CDMA2000 1xEV-DO方式携帯電話 W56T
W56T CDMA2000 1xEV-DO cellular phone

● イー・モバイル向け W-CDMA方式携帯電話 H11T

イー・モバイル向けに、3.6 Mビット/sのHSDPA (High Speed Downlink Packet Access) 方式に対応した携帯電話 H11Tを商品化した。

厚さ17.9 mmのスリムでスタイリッシュな外観の中に、320万画素のオートフォーカスカメラ、2.8型ワイドQVGAのクリアスクリーン液晶、及びワンセグ放送受信など充実した機能を搭載し、高速データ端末やパソコン(PC)の高速モデムとして、更には充実の機能を搭載した音声端末として、様々な場面で活用できる。また、国内事業者向けのW-CDMA端末として初めて国内ローミングに対応しており、そのサービスエリアでの音声通話が可能である。



イー・モバイル向け W-CDMA 携帯電話 H11T
H11T W-CDMA cellular phone

● 欧州・アジア向け 携帯電話 G810

PCと同等の機能をコンパクトに実現して携帯端末市場で採用が拡大しているマイクロソフト社のWindows Mobile® R6.1を搭載し、フルタッチパネルの採用で操作性を向上させた携帯電話 G810を商品化した。

フルタッチパネルを採用することでスタイリッシュな外観と円滑な操作性を実現するとともに、ユーザーインタフェースソフトウェアを追加搭載することで、スタイラスペンだけでなく指によるタッチでも入力できるようにし、操作性を更に向上させている。

2008年6月に欧州及びアジアで発売し、PCのエキスパートを含め、幅広いユーザー層に受け入れられている。



欧州・アジア向け 携帯電話 G810
G810 smartphone for European and Asian markets